

平成 30 年度 放課後活動指導者研修 実施報告④

平成 30 年度 学校と地域の連携推進セミナー 実施報告③

実施日：平成 30 年 9 月 3 日（月）

○講 話

「子どもを理解しよう～子どもの発達に応じた大人のかかわり方～」

東京成徳大学 子ども学部 特任教授 刀川 啓一氏

刀川先生は、小学校の教員として、また、管理職としての経験を生かした生活科と総合的な学習の時間の指導法や評価法を専門とし、幼保小連携も視野に入れた研究や体験的活動等の研究に取り組まれています。

今回の講話では、御専門の生活科の話題から、子どもに培いたい学力や体験させたいことについて触れ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について明示されました。そこから子どもとのかかわり方を「考える」・「工夫する」ことの大切さを、とても分かりやすくお話いただきました。受講者それぞれが、目の前の活動にただ取り組むだけでなく、目標に合わせた子どもたちとのかかわり方を試行錯誤する必要性について、受講者は実感できたと思います。



★ 受講者の声 ★

- ・「注意をする」「禁止をする」だけではなく、支援員が共感して、どうなりたいか、そのためにどうあるべきか、どう行動すべきかを子どもたちに投げかけ、一緒に考えていけるようにしていきたいと思います。
- ・幼保と小の接続についてイメージすることができました。放課後活動の在り方として、スタートカリキュラムをなぞって計画することも大切だと思いました。
- ・考える力を育成することで、何事も意欲的に対応できるようになることを改めて学びました。
- ・地域・保護者・学校の先生と、充実した子育てを一緒にできる環境づくりの必要性がよく分かりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL: 028-665-7206

E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp